

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立中央小学校

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（ 104 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語・算数及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 67.6／泉佐野市 66.7／大阪府 67.6／全国 70.0）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層・中間層がやや少なく、下位層がやや多く分布している。
平均正答率（本校 58.0／泉佐野市 59.2／大阪府 62.7／全国 65.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を概ね正しく読むことができている。</p> <p>問題1-1「友人を家に招く」(98.1/97.5)</p> <p>問題1-2「自分の信念をつらぬく」(97.1/96.0)</p> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話の内容に対する聞き方を工夫することのできている問題がある。</p> <p>問題2-1 文の主語として適切なものを選択する。 (55.8/53.1)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を書くことの課題がある。</p> <p>問題1ニ3「びょういんに行く」の漢字を書く。 (67.3/74.9)</p>	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話の内容に対する聞き方を工夫することに課題がある。</p> <p>3 聞き方の説明として適切なものを選択する。 (44.2/53.0)</p> <p>5-1 コラムの中で読書体験が書いてあるまともりを選択する。(52.9/59.5)</p> <p>5-2 コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く。(12.5/19.8)</p> <p>6 登場人物との関係についての説明として適切なものを選択する。(62.5/67.5)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】</p> <p>○目的や意図に応じ、記事に見出しをつけることに課題がある。</p> <p>1ニ 見出しの表現の工夫について説明として適切なものを選択する。(62.5/70.8)</p> <p>○目的や意図に応じ、取材した内容を理解しながら記事を書くことに課題がある。</p> <p>1三 「中田とよさんへのインタビューの様子」の内容をまとめて書く。(21.2/34.7)</p> <p>○目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えることに課題がある。</p> <p>2ニ「文章」の要旨をまとめて書く。(43.3/56.6)</p> <p>○文章と図とを関係を付けて、自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>2三 楽器の分担の決め方について、「楽器の分担図」を基にして書く。 (28.8/41.6)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読することに課題がある。</p> <p>3ニ 声に出して読む時の工夫とその理由を書く。 (56.7/66.6)</p> <p>○目的に応じ、中心になる語や文を捉えることに課題がある。</p> <p>2-ア 「ア」に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く。(69.2/74.5)</p> <p>2-イ 「イ」に入る言葉として適切な内容を書き抜く。(81.7/86.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	50.9	61.1	○	10.2
国語の勉強は大切だと思いますか	89.4	92.0		2.6
国語の授業の内容はよくわかりますか	75.0	82.0	◇	7.0
読書は好きですか	65.4	72.8		7.4
国語の授業で学習したことは、将来社会に出た時に役立つと思いますか。	76.9	88.6	○	11.7
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを書いていますか	42.3	65.2	○	22.9
国語の授業で意見などを発表する時、うまく伝わるように話の組み立てを考えていますか	47.1	61.2	○	14.1
国語の授業で自分の考えを書く時、考えの理由がわかるように気を付けて書いていますか	65.4	72.7	◇	7.3
国語の授業で文章を読む時、段落や話のまとまりごとに理解しながら読んでいますか	71.2	77.2	◇	6.0
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか「最後まで解答を書こうと努力した」の割合	73.1	77.7		4.6

- 学習状況調査の中で10項目中4項目において、全国との差が10%以上（7項目が5%以上）ある。
- 「国語の勉強は大切だと思いますか」の問いに対し、90%近くの児童が大切だと回答しているにもかかわらず、「国語の勉強は好きですか」に対しては50%しか肯定的回答が見られない。この学習意欲面での向上をめざした授業改善が大きな課題であると考え。「国語の授業の内容はよくわかりますか」の項目も全国に比して低くなっており、これまでも取り組んできたことではあるが、まずは「児童一人ひとりにとって、よりわかりやすい授業づくり」への取り組みを一層充実させていくことが重要であると考え。
- 特に全国との差が大きな項目に「目的に応じて資料を読み、自分の考えを書いていますか」（差22.9%）、「発表する時、うまく伝わるように話の組み立てを考えていますか」（差14.1%）がある。また、「社会に出た時役立つと思いますか」（差11.7%）についても課題があることから、言語学習の意欲を下支えする「楽しく充実した言語活動体験」の全般的な不足が考えられる。「自分の考えをまとめ、伝え合い、分かり合う、深め合う」といったそれぞれの段階での快の経験の場を設定した授業、その言語活動を支えるスキルを学べる場を設定した授業、授業での学びを活かせる学校生活場面の構築などの実践を、丁寧に積み重ねていくことが大切だと考える。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 73.0 / 泉佐野市 73.5 / 大阪府 74.8 / 全国 75.2）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、低位層の分布がやや多くなっている。

平均正答率（本校 38.4 / 泉佐野市 40.8 / 大阪府 44.1 / 全国 45.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率 / 全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○少数や分数の加減法の計算をすることは概ねできている。</p> <p>1（1）$8.9 - 0.78$の差の概算の結果を選ぶ。 (73.1/70.9)</p> <p>1（2）$5.21 + 0.7$は0.01が何個集まった数かを答える。(76.9/75.0)</p> <p>2（2）$6.79 - 0.8$を計算する。(71.2/69.5)</p> <p>2（3）$5/9 - 1/4$を計算する。(85.6/81.9)</p> <p>【量と測定】 ○2直角、3直角を基に、角の大きさを捉えることは概ねできている。</p> <p>4（1）角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ。(82.7/78.9)</p>	<p>【数と計算】 ○除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることに課題がある。</p> <p>2（4）$5/6 \div 7$を計算する。(69.2/83.4)</p> <p>【図形】 ○円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることに課題がある。</p> <p>5（2）円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める。(55.8/67.5)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【量と測定】 ○単位量当たりの大きさを用いた計算や図形の面積を求める計算は概ねできている。</p> <p>2（1）トマトを7個買う時、最も安くなる買い方を選択する。(64.4/65.7)</p> <p>5（2）図形の色のついた部分の面積を求める。 (44.2/46.7)</p> <p>【図形】 ○図形の性質を概ね理解できている。しかし、その図形の約束や性質を作図に利用することが課題である。</p> <p>1（1）平行四辺形を構成する辺の組み合わせを理解することができる。(95.2/94.8)</p> <p>1（2）作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ。(39.4/51.6)</p> <p>【数と計算】 ○四捨五入をして見積もりをした結果を基に目標に達しているかを概ね判断できる。</p> <p>4（2）切り上げて計算した結果が10000であることからわかることを選ぶ。(58.7/60.5)</p>	<p>【数と計算】 ○四捨五入しておよその数にして計算することが課題である。</p> <p>4（1）数を四捨五入して千の位のおよその数を表し、それらの数の和を求める式と答えを出す。 (34.6/51.6)</p> <p>【無回答率の高かった設問】</p> <p>1（3）二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く。(27.9/14.8)</p> <p>3（2）合同な2つの三角形の性質を基に角度の大きさを理解する。(31.7/18.9)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	53.9	66.6	○	12.7
算数の勉強は大切だと思いますか	91.4	93.1		1.7
算数の授業の内容はよくわかりますか	73.1	81.0	◇	7.9
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	60.5	77.5	○	17.0
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	69.2	79.6	○	10.4
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	52.9	67.7	○	14.8
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	83.6	90.3	◇	6.7
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	72.1	79.1	◇	7.0
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	65.4	80.6	○	15.2
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	68.3	83.8	○	15.5
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたが、「最後まで解答を書こうと努力した」の割合	71.2	73.3		2.1

- 学習状況調査の中で11項目中6項目において、全国との差が10%以上（9項目が5%以上）ある。「算数の勉強は大切だと思いますか」の問いに対し、90%以上の児童が大切だと回答しているにもかかわらず、「算数の勉強は好きですか」に対しては50%超に留まっている。この学習意欲面での向上をめざした授業改善が大きな課題であると考え。
- 「算数の授業の内容はよくわかりますか」の項目が全国に比して低い。それに伴う苦手意識が、特に全国との差が大きな「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか」（差17.0%）「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」（差14.8%）等の数学的思考・意欲を問う項目の結果に繋がっていると考え。国語科と同様、まずは「児童一人ひとりにとって、よりわかりやすい授業づくり」への取り組みを一層充実させていく。また、「公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」（差15.2%）「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」（差15.5%）の改善のため、こちらも国語科同様「自分の考えをまとめ、伝え合い、分かり合う、深め合う」といったそれぞれの段階での快の経験の場を設定した授業、その活動を支えるスキルを学べる場を設定した授業を、丁寧に積み重ねていくことが大切だと考える。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 50.9／泉佐野市 53.6／大阪府 57.3／全国 60.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科	特徴がみられた設問	
<p>【生命：活用】 ○示された情報を基に、養分の取り方について仲間分けすることが概ねできている。 2（2）生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶ。(77.9/76.3)</p> <p>【生命：知識】 ○実験器具の名称を書くことに課題がある。 2（3）示された（けんび鏡）の名称を書く。(42.3/61.6) 3（4）示された（メスシリンダー）の名称を書く。(55.8/70.7)</p> <p>【物質】 ○グラフから析出する砂糖の量について分析することに課題がある。 3（6）砂糖水を冷やした時に析出する量を選択し、理由を書く。(8.7/28.9)</p>	<p>【生命，物質：技能】 ○実験器具の正しい使い方の理解に課題がある。 2（4）顕微鏡でぼやけたときの操作方法を選ぶ。(32.7/37.9) 3（5）メスシリンダーで、一定量を測り取る適切な扱い方を選ぶ。(34.6/51.7)</p> <p>【地球：活用】 ○与えられた情報を基に、方位を判断することに課題が見られる。 4（1）方位についての情報から、観察している方位を選ぶ。(24.0/41.0)</p> <p>【地球：知識】 ○水が水蒸気になる現象についての理解に課題がある。 4（5）水が水蒸気になる現象について、その名称を書く。(41.3/58.5)</p>	

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	67.3	83.5	○	16.2
理科の勉強は大切だと思いますか	70.2	86.9	○	16.7
理科の授業の内容はよく分かりますか	79.8	87.9	◇	8.1
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	78.9	86.9	◇	8.0
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	45.2	69.3	○	24.1
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	63.4	74.5	○	11.1
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	13.5	28.8	○	15.3
理科の授業で、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしていますか	31.7	54.9	○	23.2

理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	73.1	90.0	○	16.9
観察や実験を行うことは好きですか	81.7	90.1	◇	8.4
理科の授業で自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	52.9	75.3	○	22.4
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことがわかったのかを考えていますか	65.4	80.4	○	15.0
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	49.0	67.1	○	18.1
今回の理科の問題について、回答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか 「最後まで解答を書こうと努力した」の割合	63.5	76.1	○	12.6

○「理科の授業は大切だと思いますか」「理科の授業は好きですか」という質問に対して、約 70%の児童が肯定的な回答をしている。今後、この思いを更に伸ばしていきたいと考える。

○観察や実験が好きな児童は8割を超えており、活動に楽しさを感じている児童が多い。今後の授業づくりにおいては、観察活動・実験活動に対するこの旺盛な学習意欲を活かし、科学的思考活動の場・科学的言語活動の場の充実をすすめていく。

○「自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしている」「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」「観察や実験の結果から、どのようなことがわかったのかを考えている」「観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている」割合が全国平均と比べて低く（それぞれ 31.7/54.9、52.9/75.3、65.4/80.0 49.0/67.1）、理科の授業においても、考えたり発表したりすることに苦手意識を持つ児童が多いことがうかがえる。また、教師としても、児童が授業の中で考えたり発表したりする場が実際に少なくなっていなかったかと自らに問う必要がある。どちらにしても、授業改善を早急にかつ不断に進める必要があると考える。国語科・算数科同様、「自分の考えをまとめ、伝え合い、分かり合う、深め合う」といったそれぞれの段階での快の経験の場を設定した授業、その活動を支えるスキルを学べる場を設定した授業を実施していく。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

質問に対して4択で選ぶものについて、選択肢1と2（1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる）は同傾向、3と4（3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）は同傾向と捉える。また、それ以外の質問は、特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較する。

下記の表には全国と比較して10%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子・地域での様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・約半数の児童が11時～12時に就寝しており、就寝時間が全体的に遅い。朝の登校は8時30分までにはほとんどの児童が登校できている。 ・自尊感情を高める必要がある。 ・各種フェスタ等、多くの行事がある地域である。その機会を生かし地域愛を育てたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか <u><65.3/79.5></u> ○自分には、良いところがあると思いますか <u><58.6/76.4></u> ○今住んでいる地域の行事に参加していますか <u><46.1/66.9></u> ○地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありますか <u><27.9/44.8></u>
【家庭学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での学習は宿題が主で、予習・復習まで取り組んでいる児童は少ない。 ・校区内に市立図書館もある恵まれた環境を生かせず、活用が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家で、学校の授業の復習をしていますか <u><27.9/54.5></u> ○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか <u><49.1/62.8></u> ○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらいいきますか <u><5.7/17.6></u>
【学校での学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・静かな学習環境は作ることができているが、能動的・主体的な学習を引き出すに至っていない。 ・「自分の意見を述べるのが難しい。」と感じる児童が多いので、日々の授業の中だけでなく、自らの思いを表出する機会を増やすようにしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて、情報を集め、整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <u><41.3/65.8></u> ○5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちの課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか <u><53.9/74.2></u> ○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか <u><80.8/60.1></u> ○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか <u><72.1/55.2></u>

本校の取組み

◎これまでの取組み

基礎学力の定着には、朝の15分間を利用しています。学習内容は、以下の通りです。

月曜日	児童朝礼または朝学習	漢字、算数の問題
火曜日	チャレンジタイム	算数の総合的な問題
水曜日	朝学習	漢字、算数の問題
木曜日	読書タイム	読書または読み聞かせ
金曜日	朝学習	漢字、算数の問題

また、「心豊かな子どもの育成 ～共に学び合う、楽しい授業を通じて～」を研究主題として授業研究に取り組んできました。子どもがわかる、たのしい授業を進めるため、生活体験に基づく教材や課題の設定、説明がしやすいよう「話型」を用いて人に話すこと、子どもが理解しやすい教材教具を授業に盛り込むことなどを考えながら、密度の濃い授業をめざし研究授業を行ってきました。

研究授業は全学年で行っています。外部より講師の先生にも来ていただき、全教職員が参加で行います。研究授業後には研究協議会を行い、翌日からの授業実践に役立つようにしてきました。

日々の授業の中では、ペア学習やグループ学習を取り入れ、自分自身の考えを持ち発表する力や、周りの意見や考えを聞き理解する力、考えを比較して深める力の育成に努めております。

◎これからの取組み

これまで取り組んできたものの再掲も含め、今後充実して行っていく取り組みを、以下に示します。

① 授業

(ア) 個人思考の場と集団思考の場の効果的設定

授業の中での「自分の考えをまとめる場」「友人と考えを伝え合う場」「話し合う場」「集団としての考えをまとめる場」を充実させ、授業展開の中に効果的に設定する。

児童の能動的学習を引き出すと共に、論理的思考力・言語活動力を高める。

(イ) 「基本話型」等、言語活動充実の基礎となるスキル学習の場の充実

様々な場面での「話し方」や「聴き方」「話し合い方」等の型を学ぶ場を設定し、スキルを教えた上で、発達段階に応じた活用を提供し、その活用を促していく。

(ウ) 学習法・教材・教具の工夫

- ・ 具体物操作学習による体感的認知・理解の促進
- ・ 学習と生活とを結びつける具体教材の活用
- ・ 視聴教材の活用
- ・ 繰り返し考えを書き込むことが可能な「ホワイトボード」の活用

② 名文の暗唱

名文を大きな声で暗唱する機会を全校的に設定。言葉のシャワーによって語感を磨き、語彙を増やす。音声表現の楽しさを体感させ、表現に自信をもたせる

③ 読書活動の充実

- ・ 朝の全校一斉読書タイム
- ・ 授業での図書室の活用増
- ・ 図書室開館時間の増加

④ 家庭学習の充実

- ・ 家庭学習の仕方の指導
- ・ 家庭学習材の提供
- ・ 家庭学習の目安の提案

⑤ 府のWEB教材の活用

府が作成した、基礎学力向上プリントを、授業や朝の15分学習、家庭学習で活用する。

⑥ 求められる学力の育成

5年生時に、本年度の全国学力・学習状況調査問題を行う等の取り組みの中で、「これからの時代に求められる学力」を育成していく。